

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 37 号

第 37 週(9月 12日 ~ 9月 18日)

発行年月日:平成17年(2005年) 9月22日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (37週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (37週)	全国 (37週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 6	408	9	576
	腸チフス	0	0	36	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	12	2,666	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	^{(*)3} 32	1	34
	A型肝炎	0	1	^{(*)3} 133	0	136
	オウム病	0	1	26	1	39
	デング熱	0	1	49	2	45
	マラリア	0	0	48	2	73
	レジオネラ症	0	1	160	0	162
5類感染症	アメーバ赤痢	0	3	493	8	580
	ウイルス性肝炎	0	1	202	5	299
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	111	0	167
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	43	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	4	834	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	48	2	85
	梅毒	0	0	377	4	516
	破傷風	0	0	73	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	52	0	49
急性脳炎	0	2	^{(*)3} 132	1	164	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。
*3:平成17年第35週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2)定点把握の対象となる5類感染症

(1)疾病別・週別発生状況(第32~37週、8/8~9/18)

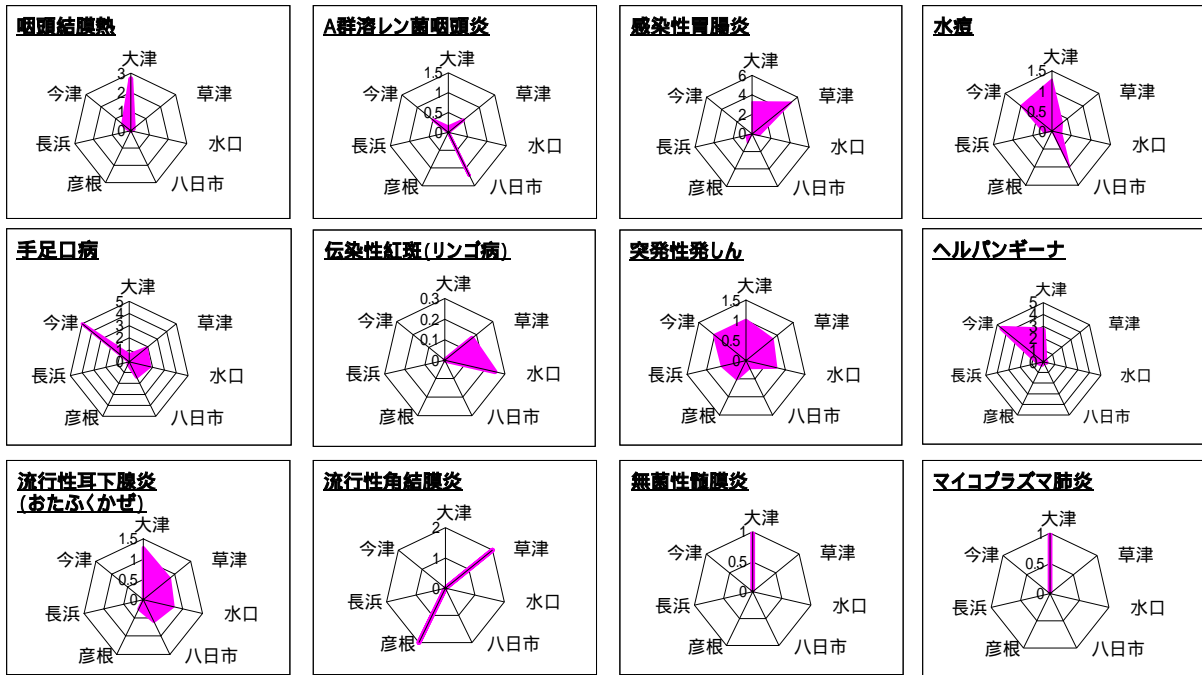
疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	32週	33週	34週	35週	36週	37週	週				
	(8/8~)	(8/15~)	(8/22~)	(8/29~)	(9/5~)	(9/12~)	33	34	35	36	37
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	0.88	0.58	0.73	0.76	0.70	0.64					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	0.03	0.12	0.18	0.18	0.33					
感染性胃腸炎	1.30	1.06	1.55	1.30	1.36	1.94					
水痘	0.48	0.55	0.64	0.42	0.45	0.61					
手足口病	0.55	0.70	0.79	0.85	1.12	1.21					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.03	0.06	0.06	0.06					
突発性発しん	0.48	0.64	0.67	0.91	0.64	0.70					
百日咳	0	0	0	0	0.03	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0.03	0	0	0					
ヘルパンギーナ	2.67	1.33	1.61	1.70	1.06	1.00					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.27	1.61	1.18	0.85	0.91	0.64					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.57	1.57	0.29	0.14	0.43	0.57					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0.14	0.14	0	0.43	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第37週、9/12～9/18)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.64	2.71	0.17	0	0	0	0	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	0.14	0.50	0	1.20	0	0	0.50
感染性胃腸炎	1.94	3.29	5.17	0.75	0	1.00	0.60	0
水痘	0.61	1.29	0.33	0.25	1.00	0	0.20	1.00
手足口病	1.21	0.57	1.83	1.75	1.40	0.25	0	5.00
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.17	0.25	0	0	0	0
突発性発しん	0.70	1.00	0.83	0.75	0.20	0.50	0.60	1.00
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1.00	2.71	0.17	0.25	0	0.25	0.40	4.50
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.64	1.29	0.83	0.75	0.60	0.25	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.57	0	2.00	0	0	2.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

戻る



今週の発生状況：

咽頭結膜熱は2週連続して減少していますが大津ではやや多い状態となっています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4週連続して増加傾向を示しており、今週は特に八日市で多くなっています。水痘は大津、八日市および今津で多くなっており、流行性角結膜炎は草津および彦根で多くなっています。また、無菌性髄膜炎およびマイコプラズマ肺炎は大津から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間の単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

手足口病の発生は増加傾向持続

流行性耳下腺炎の発生は減少傾向

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第33~37週)

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(9月5日~9月11日)の報告数より多くなっており、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、流行性角結膜炎等の発生は増加しています。また、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎等の発生は減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、全数報告感染症についてはクロイツフェルト・ヤコブ病1名の届出がありました。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数1.36より増加し1.94となっており、大津および草津で多くなっています。特に、草津保健所管内の定点当たり患者数は第34週(8/22~8/28)以降増加傾向を示しています。

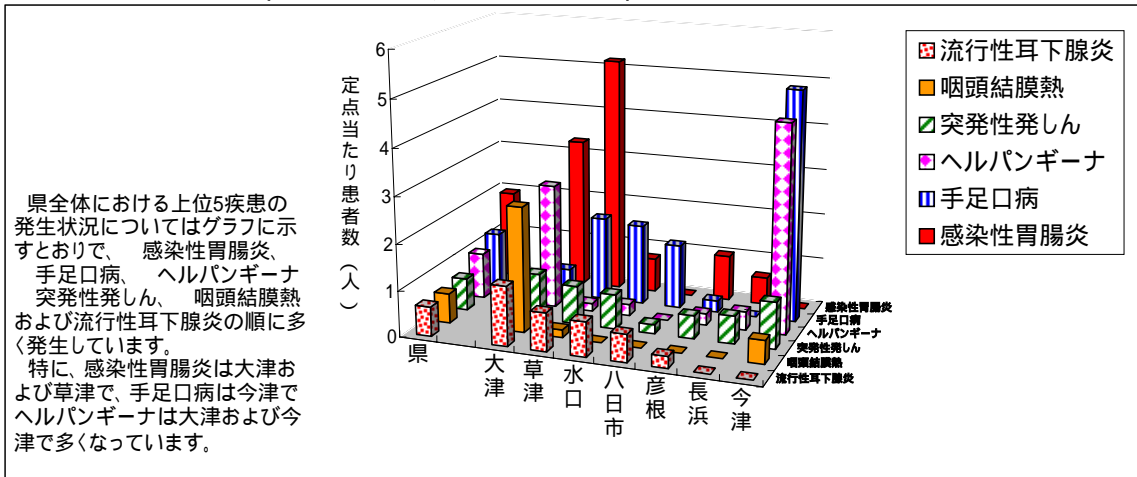
手足口病については、先週の定点当たり患者数1.12よりさらに増加し1.21となっています。特に、今津保健所管内の定点当たり患者数は5.00と非常に多くなっています。また、草津および水口保健所管内においても先週より増加し、定点当たり患者数はそれぞれ1.83、1.75となっています。

ヘルパンギーナについては、先週の定点当たり患者数1.06より減少し1.00となっていますが大津および今津保健所管内では多くなっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、先週の定点当たり患者数0.91より減少し0.64となっていますが大津では1.29とやや多くなっています。

定点把握の対象となる5類感染症における上位5疾患の保健所管内別発生状況

(平成17年第37週、H17.9.12~H17.9.18)



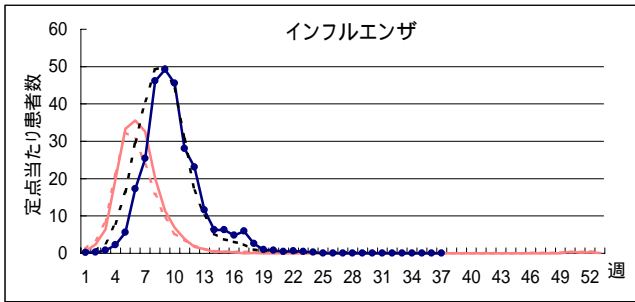
滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第33~37週、H17.8.15~H17.9.18)

感染症類型	疾患名	1~32週の累積報告数	33~37週の報告年月日	概 要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	細菌性赤痢	6 ^(*)	報告なし			
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8	H17.8.19	血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)VT2(+)	日本国内	不明
			H17.8.19	血清型: O157 産性毒素型: VT1(-)VT2(+)	日本国内	不明
			H17.8.23	血清型: O157 産性毒素型: VT1(-)VT2(+)	日本国内	不明
			H17.8.29	血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)VT2(+)	日本国内	不明
* VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型						
四類感染症	A型肝炎	1	報告なし			
	オウム病	1	報告なし			
	デング熱	1	報告なし			
	レジオネラ症	1	報告なし			
五類感染症	アメーバ赤痢	2	H17.8.26		日本国内	異性間性的接触
	ウイルス性肝炎	1	報告なし			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	H17.8.30	孤発性CJD(ほぼ種実)	不明	不明
			H17.9.12	孤発性CJD(隠れ)	日本国内	不明
	後天性免疫不全症候群	3	H17.8.19	無症候性キャリア	不明	異性間性的接触
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	報告なし			
急性菌炎	2	報告なし				

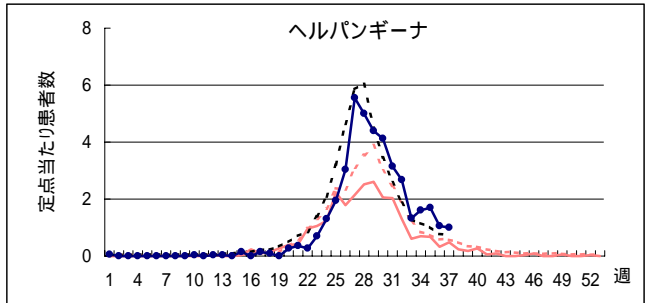
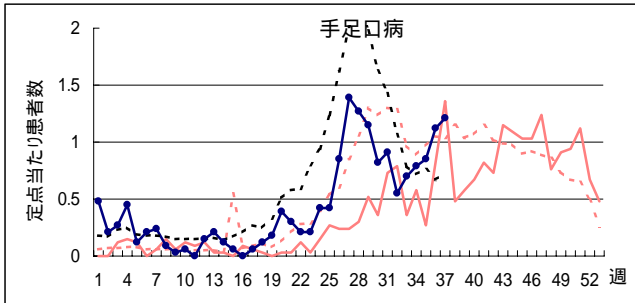
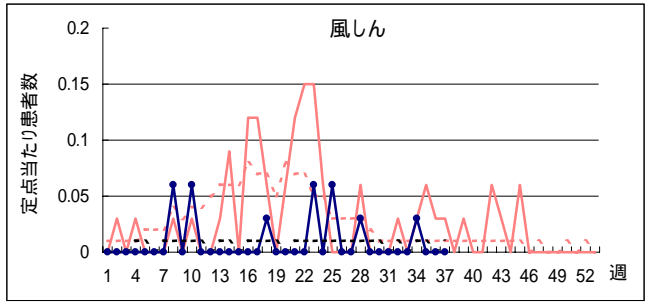
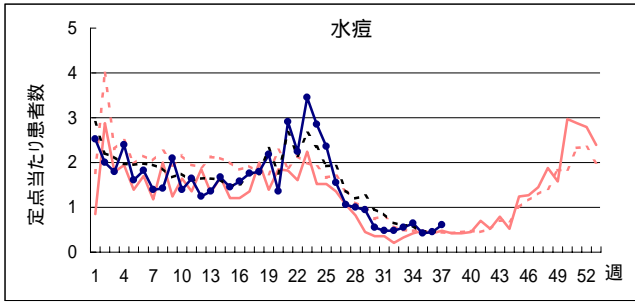
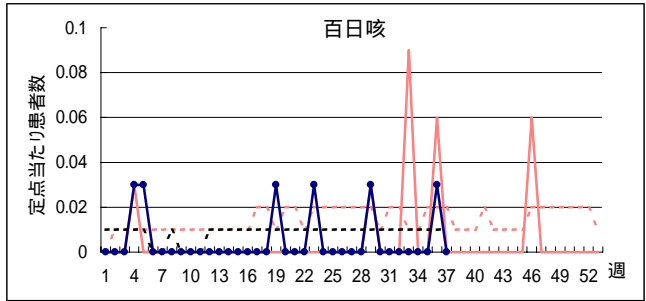
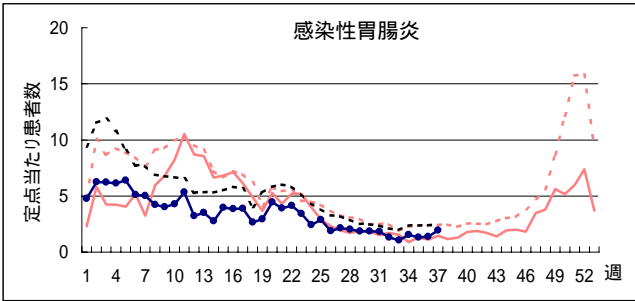
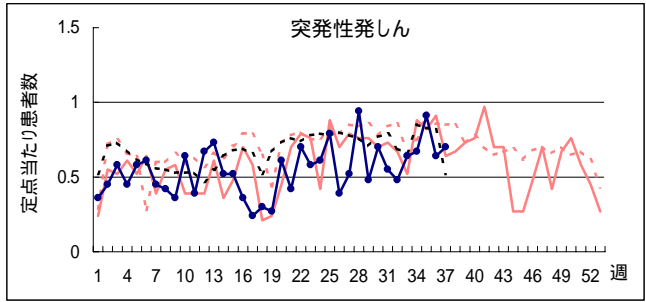
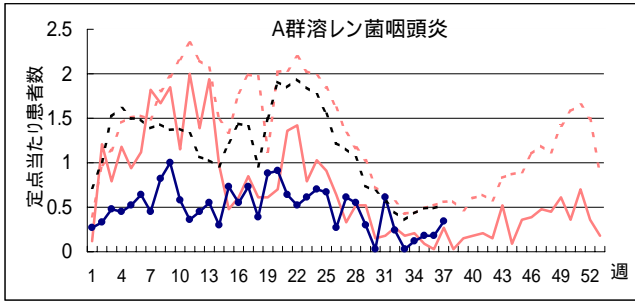
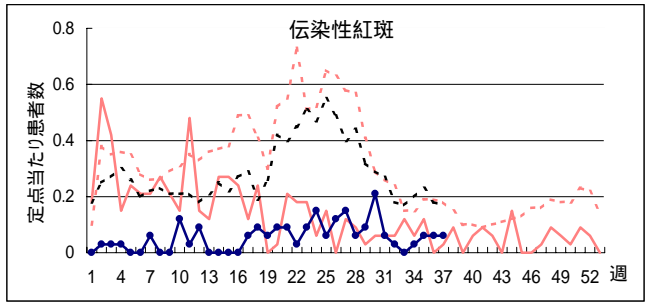
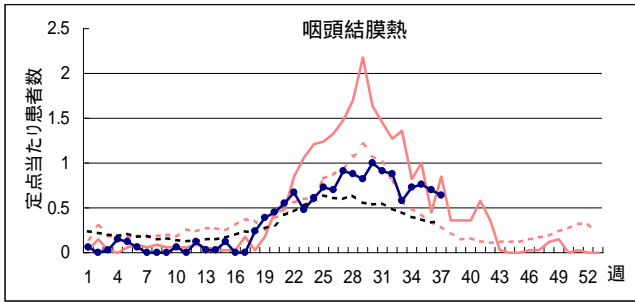
(*)1)検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第37週、H17.1.3～H17.9.18)



H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第37週、H17.1.3～H17.9.18)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

